


にほんご発音ラボ

かんご じよすうし 漢語の助数詞 (3)

 **かぞ かた ほうそく
数え方の法則 4**


ぎょう はじ かんごじよすうし かぞ そくおん
ハ行から始まる漢語助数詞で数えるとき、1・6・8・10が促音になります。

じよすうし ごとう しいん へんか
また、助数詞の語頭の子音も「p/h/b」と変化します。

かぞ かた ほん 数え方④-1 「～本」

★ “細長い形” を数えます (【基本形】+本)。

例) 傘、鉛筆、ネクタイ、スプーン、木、髪の毛、タオル、道路、ビデオ、論文

	p いっぽん	2本	b ぼん よん	4本	5本	p ろっぽん	7本	p ほっぽん	9本	p じっぽん ^{注1}
	<u>1本</u>		<u>3本</u>		[b]	<u>6本</u>	[c]	<u>8本</u>		

♪リズムは2本と5本だけ1 2型です。

♪アクセントは5本の**[b]**型、7本の**[c]**型以外、全て**[a]**型です。



♪いっぽん!♪

ロックのリズムに乗って歌いましょう。いっぽん、にほん、さんぼん……。

ひょうげん ことばと表現

じゅうどう にほん でんとうてき ぶどう ひと
▶柔道：日本の伝統的な武道の一つ。「一本」(いっぽん)

しょうはい き おお わざ
は勝敗を決める大きな技。

わざ いっぽん つぎ しょうはい き じゅうよう わざ
▶技あり：「一本」の次に勝敗を決める重要な技。

せ お な あいて せなか の な わざ
▶背負い投げ：相手を背中に乗せて投げる技。



「～ほん」は「～ぼん」や「～ぽん」に変わる!

♪「～本 (hon)」は、1・6・8・10・百のとき促音になり、「～ぼん (pon)」と数えます (例：100本「ひゃっぽん」)。

♪3・千・万のときは、助数詞だけ音が変わって「～ぼん (bon)」と数えます (例：1万本「いちまんぼん」)。また、「何本？」と尋ねます。

(1) 10本 (じっぽん) は「じゅっぽん」とも言います (10杯 (じっぱい) も同様に「じゅっぱい」)。

にほんご発音ラボ

かぞ かた ^{はい}
数え方④-2 「～杯」

★「～杯」も「～本」と同じように数えます（【基本形】+杯）。

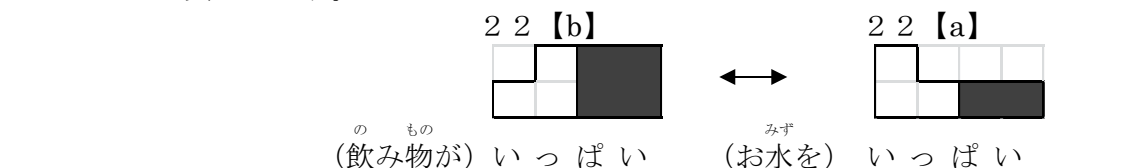


^p ^b ^p ^p ^p
いっばい ばい よん ろっばい なな はっばい きゅう じっばい
1杯 2杯 3杯 4杯 5杯 6杯 7杯 8杯 9杯 10杯
【b】 【c】



たし
確かめましょう

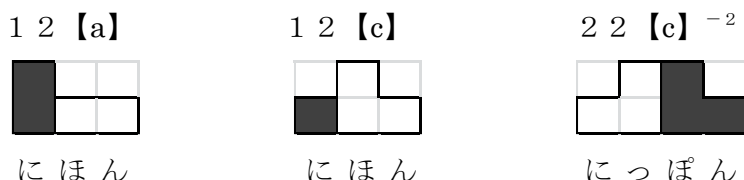
1) 「飲み物が“いっぱい”（たくさん）あります」と「お水を“1杯”ください」はアクセントが異なります。



🔊 日本語では「1杯のお水をください」とは言いません。「お水を1杯ください」のように「数詞+助数詞」は“動詞のすぐ前”にきます。

例) 駅前にコンビニが2軒あります。 / 彼女にバラの花を100本贈りました。

2) 2本（にほん）です / 日本（にほん）です / 日本（にっぽん）です。



🔊 国の代表として戦う国際試合などでは「にっぽん」と言うことがあります。

おお かず かぞ かた
大きい数の数え方

★大きい数は“位の名前=助数詞”と考えて数えましょう（【基本形】+位の名前）。

ちよう せんおく ひやくおく おく せんまん ひやくまん まん せん ひやく じゅう いち
兆 | 千億 百億 十億 (一)億 | 千万 百万 十万 万 | 千 百 十 (一)
ぎょう ぎょう ぎょう ぎょう ぎょう ぎょう ぎょう
タ行 サ行 ハ行 サ行 ハ行 サ行 ハ行

🔊 助数詞と同じように、サ行とタ行から始まる位の名前では「1・8・10」が促音に（数え方の法則3）、ハ行から始まる位の名前では「1・6・8・10」が促音になり、位の名前の音も変化します（数え方の法則4）。

例) 8, 888 (8千8百8十8) 「はっせん、はっぴやく、はちじゅう、はち」